



さとやま

7月に見られるいきもの



今年の梅雨入りは、平年より少し遅めで、6月下旬に明けてしまいました。雨量は十分あったのか、気になります。梅雨が明けると里は夏の生き物たちでにぎわいます。

センター前のビオトープでは、蘭の仲間である**ネジバナ**の可憐な姿が、センター裏や、田んぼエリアの上の道には釣り鐘型の**シャシャンボ**が咲きます。菖蒲池や田んぼエリアでは、**ヌマトラノオ**の群生が花をつけ始めます。小草池の道では、モールのような**ヤブマオ**の花が咲きだします。運が良ければ、道沿いで普段高い梢で咲く**ネムノキ**の花を低い位置で目にできることがあります。

万灯山の山頂付近の登山道で**ヒメヤブラン**の花を見つけることができ、山頂では**アキノタムラソウ**が群生しています。

水辺では、カワトンボの仲間の、**ハグロトンボ**に出逢うことがあります。

そんな初夏の里を散策してみませんか。



ネジバナ



シャシャンボ



ヌマトラノオ



ヤブマオ



ネムノキ



ヒメヤブラン



アキノタムラソウ



ハグロトンボ

里の生き物紹介

ヤブミョウガ

夏、万灯山エリアの山道を歩いていると、涼し気な白い花をつけた植物の群落が目を引きまます。



これは、ツククサ科に分類される、多年草のヤブミョウガです。林縁の湿気の多い土地を好み、地下茎を伸ばして群生します。草丈は50cm~1mで、葉は茎の先端部分に集中し、花期にはその先に花が複数つきます。花期は長く、7月下旬~9月上旬頃まで見られます。

白色の花弁とがくが3枚ずつあり、雌しべと、小さな雄しべがある雌花と、雄しべが目立つ雄花が同じ茎につきます。雌花と雄花は、自家受粉を避けるためか、同じ茎で咲く時期がずれているようです。

花は1日でしぼみ、実は白~薄緑~青緑と変化して、秋に熟すと黒色になります。



名前に「ミョウガ」とつきますが、薬味の「みょうが」とは全く違う種類です。しかしよく似た香りがあり、若芽を天ぷらや薬味として食べる地区もあるようです。

里では、センター横の梅の木の下や、万灯山へ向かう道の木の階段近くに**ミョウガ**があります。



薬味として使う「みょうが」は、ショウガ科の多年草、ミョウガの花芽です。

ヤブミョウガと違い、葉につやがなく、放射状にならないので、見分けられます。

花芽は葉とは別に地下茎から出ます。中にはいくつかのつぼみがあり、次々と咲いていきます。

花は受精しても種子ができることはほとんどなく、主に地下茎で増えます。

東南アジア原産で、古い時代に渡来し、人が植えることによって分布が広がっていったとされています。



さとやまニュース

数年前発見し、ずっと見守ってきた、何者かが万灯山エリアのあちこちの木につけたと思われる、**着生ラン**の一株が花をつけました



ランの仲間には、地面に生えるのではなく、岩や木の枝などにくっついて生える着生ランがあります。着生した植物から栄養分を摂る寄生ではなく、単に足場として利用しています。スポンジ状の太い根から、空気中の水分を吸収して育ちます。

日本で自生する着生ランには、**セッコク**の仲間があります。このランもそうではないかと思われます。しかし、見つけた株の全てが手の届くところにあることや、よく生育していないため、自然に生えたものではないと考えています。

あまり過度な干渉はよくないですが、もともと自生しているものと、人の手によって持ち込まれた生き物が混在することが、人と自然が触れ合う里山の特性ではないかとも思います。

6月の行事紹介



「草花を使って子どもと一緒に遊ぶ講座」を6月5日（日）に開催しました。

里山に咲いている草花を採りに行き、草花の特性を生かして、ムカデ、笛、花冠などを作りました。椿の葉での笛作りでは、大きな笛の音に子どもから「どうやってやるの」と興味津々、教えてもらい大きな音が出せました。

写真は、シロツメクサを使って可愛い花冠作り、昔なつかしい草花遊びは、新鮮で楽しい時間でした。

7月の行事予定

24日（日）	梅雨時のキノコを探そう	20名	AM9:30～11:30	石川まゆみ
--------	-------------	-----	--------------	-------

◎内容 ～ 梅雨時の里山に多く生えるきのこを散策しながら見つけ、その性質を学びます。

8月の行事予定

7日（日）	夏休みの昆虫教室	30名	AM9:30～11:30	山口 信夫
-------	----------	-----	--------------	-------

◎内容 ～ 木々に群がる昆虫の探し方や実際に手に触れて生態など学び、詳しく観察します。

21日（日）	水辺の生きもの探検隊	30名	AM9:30～11:30	神本 晃
--------	------------	-----	--------------	------

◎内容 ～ 里山から流れる小川に棲む魚などをタモで捕まえ、生態などを観察します。

28日（日）	親子のアイデア工作	20名	AM9:30～11:30	当園職員
--------	-----------	-----	--------------	------

◎内容 ～ 里山の天然素材の小枝や木の実を使い、恐竜や昆虫などを作ります。

- ◎ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその家族までとします。なお、申込者が**6名以下の場合**は開講しません。
- ◎ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学者扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◎ **当日の天候や新型コロナウイルス感染症の拡大防止**のため、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◎ 原則、**参加費は無料**ですが、各講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◎ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28～1/4] ◆発行 西尾市環境部環境保全課